

令和3年度
自衛官候補生課程入隊式

サービスの宣誓



体力検定



武器貸与式



実弾射撃訓練



基本教練

連隊は、4月4日伊感染症拡大防止のため及び武器貸与式が行われ、丹駐屯地において自衛官候補生課程入隊式を小して招待し、ご家族情はより一層引き締中、76名の自衛官候補生は、式では告達、申自衛官候補生は、約3生が入隊した。新型コロナウイルスその後、区隊旗授与式を学んでいく。

祝入隊
厳かに自衛官候補生課程入隊式を実施
自衛官としての第一歩をさぶろくから

月刊
さぶろく魂

発行所

第36普通科連隊総務室

〒664-0012

兵庫県伊丹市緑ヶ丘

7-1-1-2

電話 (072) 782-0001

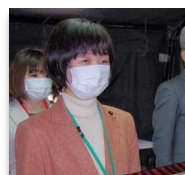
内線 (4103)



令和2年度 連隊長感謝状を贈呈

芦屋防衛協会
(会長 小泉星児様)自衛隊島本協力会
(会長 清水茂様)自衛隊豊能協力会
(会長 井上和雄様)

◆感謝状受賞団体◆

自衛隊池田協力会
川西 二郎様自衛隊笑面協力会
小山 正男様自衛隊豊能協力会
植村 壽雄様自衛隊西宮協力会
三浦 紀子様自衛隊茨木協力会
島村日出夫様第36普通科連隊協賛会
岩本 恵至様伊丹自衛隊家族会
鍋山 憲一様宝塚自衛隊家族会
日野 啓次様自衛隊川西雅名川家族会
村岡 正幸様尼崎防衛協議会
千葉 雅士様第36普通科連隊OB会
戸本 文夫様芦屋防衛協会
武田義勇貴様自衛隊島本協力会
西田 達行様自衛隊摂津協力会
須川 拓胤様敬愛まちづくり財団
堀 秀覚様第36普通科連隊協賛会
中島かおり様第36普通科連隊協賛会
三方 益世様東大阪自衛隊家族会
片山 久様防衛モニター
塩田ひとみ様

◆感謝状受賞者◆

連隊は、2月28日に実施を予定していた連隊創隊59周年記念行事を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しては昨今の状況を鑑み、ご自宅を訪問して贈呈した。

例年、連隊創隊記念行事の際、感謝状贈呈式を執り行っていたが、令和2年度については昨今の状況を鑑み、ご自宅を訪問して贈呈した。

- 1面 自衛官候補生入隊式、連隊長感謝状贈呈
- 2面 師団統裁バトラ戦闘訓練、大阪学院大学高校の生活体験
- 3面 方面隊統制演習場春季整備





師団統裁 バトル 戦闘訓練

第3師団にさぶろくあり

相手にとって不足なし！ライバル連隊相手にがっぷり四つの真っ向勝負！

第5中隊は、4月9日0時の状況開始に合わせて、砲迫火力による事前制圧射撃を実施、防衛部隊（7連隊4中隊）に損耗を発生させた。さらに積極的に斥候を潜入させ、敵情の情報収集に努め、当初優位に戦闘を進めるかに見えたが、途中、敵防衛部隊の幾重にも重なる障害に



第5中隊長 菊池3佐

疾きこと風の如く



中隊指揮所

5中隊 連隊切り込み隊長・菊池中隊長！両者のしるぎを削る攻防！敵防衛陣地に怒涛の突撃を発起！

この訓練は、バトル（※）を活用した中隊対抗方式の訓練であり、連隊の代表中隊として攻撃部隊に第5中隊、防衛部隊に第4中隊を選抜、連隊の威信をかけて戦闘を繰り広げた。

なお、連隊はこの訓練の場を活用し、第1次基礎となる部隊の訓練検閲を実施して、第4中隊及び第5中隊の教育訓練の成果を評価判定するとともに、その進歩向上を促した。

（※）バトル（BATTLE）とは、Battle Training Apparatusの略（自衛隊呼称）。火器に取り付けた光線発射装置及び身体・車両に装着した受光部により、実弾を使用することなく実戦同様の訓練を可能にする器材。

連隊は、令和3年4月1日から15日までの間、師団が統裁する青野ヶ原演習場で実施された令和3年度第1回師団統裁バトル戦闘訓練に参加した。

視準校正における綿密な調整



寸分の狂いなし！最終調整に余念がない狙撃組



機甲科の戦闘展開

10時51分、攻撃部隊側の損耗率が50%に達したところで状況終了となった。



第4中隊長 木下3佐

動かさること山の如く

4中隊 狙撃と対戦車火器の命中多数！迎撃態勢に微塵も死角なし。鉄壁の要塞か！木下中隊長

前進を阻まれ、損耗を受けた。一時劣勢に陥った第5中隊であったが、迂回で攻撃前進、防衛側にも徐々に損耗を与え続け劣勢を挽回、残存勢力は攻撃側、防衛側とも拮抗した。夕頃、敵主陣地に怒涛の突撃を発起、両部隊の残存率がほぼ同率となったところで状況が終了した。

第4中隊は、4月12日6時から防衛部隊の状況を開始した。同日夜に防衛準備を概ね完成させ、13日0時からの攻撃部隊（37連隊2中隊）の攻撃を待ち構えた。第4中隊は、対人狙撃銃や対戦車火器の精密な射撃で攻撃部隊に損耗を与え続け、14日



“自衛隊式”清掃要領の紹介



ロープ訓練

以下は参加した高校生の声「全ての訓練で優しくてうれしかった」声「全ての訓練で、とても優しく接してくれました。分からないことも聞きやすくてうれしかったです。」「テキパキした機敏な動作や声の張りがすごい。さすが自衛隊と思いました。」と大きなインパクトを受けた様子。今回の生活体験は、高校生を十分に感化、重迫撃砲中隊の凛とした姿は、彼らの心に鮮やかに刻まれたことだろう。



ベッドメイキング

高校生の声「すべての訓練で優しくてうれしかった」
「機敏な動作、声の張りがすごい。さすが自衛隊」

連隊は、4月9日（金）新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、大阪学院大学高校の生活体験を実施、重迫撃砲中隊が担任中隊となり、基本教練、清掃、ベッドメイキング、ロープ訓練を体験した。

生活体験 迫真展示で高校生を魅了「自衛隊に興味増した」

さすが重迫中隊「自衛隊」を好アピール



魅せた“本気のさぶろく” 演習場整備任務完遂！

あいば野演習場 未来の訓練環境見すえ密林を大規模伐採／部隊行動が可能に
長尾山演習場 各所で改修工事／砲迫陣地拡幅、射座、攻撃経路造成、三角点標など



師団長点検（あいば野演習場）



副師団長点検（長尾山演習場）

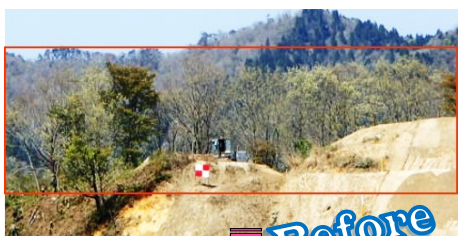
連隊は、4月18日から27日までの間、令和3年度「方面隊統制あいば野演習場春季整備」及び「春季長尾山演習場整備」に参加した。

あいば野演習場整備には本部管理中隊、第1中隊、第3中隊及び重迫撃砲中隊が、長尾山演習場整備には、第2中隊、第4中隊及び第5中隊が参加した。森林や幹線道路沿いの整備及び各種訓練施設の機能回復・維持・向上を図り、示された概成時期までに整備任務を完遂させ、本演習場整備の目的に寄与した。



部隊行動を容易化するために密林地帯を積極的に伐採する隊員（あいば野演習場 金吹平）

見えず弾整備



Before



After!



三角点標構築



Before



After!



金吹平疎林化整備



Before



After!



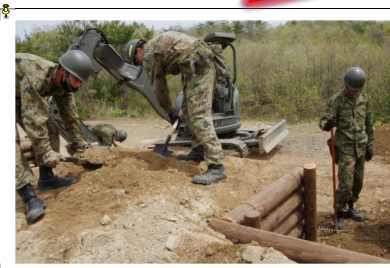
第1射座改修



Before



After!



改修！ビフォー&アフター
あいば野演習場



作業進度をリモートで情報共有



白熱する指揮所訓練



作業の合間で砲手訓練



至近距離射場整備



器材のメンテナンス（直接支援中隊）



作業現場を巡回する衛生救護員

フォトギャラリー

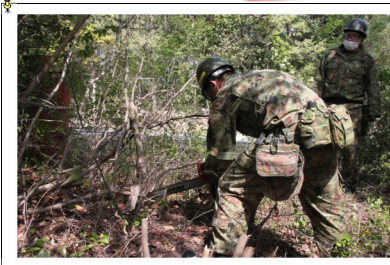
攻撃経路の拡幅



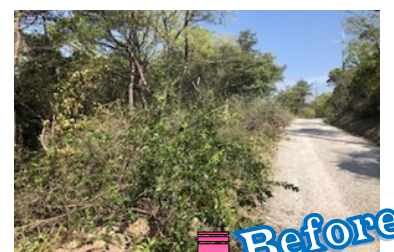
Before



After!



幹線道路沿い視射界清掃



Before



After!



長尾山演習場

